

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [東京都渋谷区立松濤中学校] 担当教諭名 [田邊 真由美] (美術部 16 名)

交流相手国 [アメリカ]

海外学校名 [John Adams Middle School] 担当教諭名 [Jen Joyce]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	アートマイルで世界とつながろう	20

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	伝統的な祭りと衣装
絵に込めたメッセージ	伝統的な両国らしい、夏の風景を題材に描いた。 花火輝く日本の夜と、カリフォルニアの明るい青空のコントラスト両手をつなぐことでつながりを表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
アメリカ、日本それぞれに自国の文化について再確認し、自分たちの伝統的な風景を表現することができた。日本の生徒達も、アメリカからの送られてくる生徒や作品の様子、震災に関してのメッセージを実際に受け取り、たくさんのことを感じ取ることができた。	相手校の先生は多くアートマイルに参加されている方で、計画的に積極的にしてくださる方でしたが、私自身の理解や語学力が足りず、担当の先生に多大な心配をかけてしまいました。交流の回数を増やすことで、作品や、生徒のためにも良い経験が得られると感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
4月からアートマイル参加を楽しみにしていた。通常の活動や様々な行事、特に秋の学習発表会の大制作と重なってしまったが、短時間の中で生徒同士話し合い、積極的に活動することができた。また、アメリカでの制作の様子や作品が返却された時には皆とても喜び、両国で完成させた事を実感した。	アートマイルに参加をしたいと思っていたのですが、実際に参加してみて、自分の語学力もあり、フォーラム使用にも時間がかかってしまった。活動や、アメリカでの活動の様子を生徒達は喜んでいたので、積極的な交流を持つことで何倍も活動を良い物にできたと思う。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	11月	各自が制作。 画用紙1枚に英文とイラストで自己紹介。	各自考え、楽しみながら制作した。	部活動
テーマ学習	8月	宿題として「日本の伝統的な祭りや衣装」について考えてくる。	皆でまとめまとめたテーマを決定。	部活動
構図決定	11月	美術部生徒それぞれが簡単な構図スケッチを考え、その中からいくつかの作品を組み合わせて構図を決定した。	過去の作品も参考に、どのような作品にしたいかと皆で話し合うことができた。	部活動
壁画制作	11月	秋・冬の学習発表会の中の1ヶ月間で、集中して制作することができた。部活で大きな共同作品を制作することはあるが、他国の生徒との共同制作は新鮮な体験であった。	通常の絵の具と違い、特に生徒達が表現したかった日本の藍色が作れず苦勞したが、工夫して夜空の表現を行った。	部活動
鑑賞・振り返り	2月	部活動で作品を鑑賞した。美術室に展示し、全校生徒が各クラスで鑑賞を行った。	半分白紙であった作品が実際に完成した作品として戻ってきたことや、作品の裏にたくさんのサインやメッセージをみつけ感動していた。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	各自自国の文化を再確認し、表現することができた。
異文化の理解	A	4	テーマは自国の表現であったが、表現しない相手国についても調べ理解することができた
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	なかなか細かく交流することができなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	なかなか細かく交流することができなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	3	部活動内では十分人間関係は作れているが、相手国との生徒個人的な人間関係作りはできていない。
協働する力 (役割分担・協力)	A	3	各国がそれぞれの国の文化を理解し、表現することができた。
学習を追究する意欲	B	4	部活動ではあまり時間をとることができなかったが、部員各自が積極的に調べ学習してくることができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	調べた文化を理解し、具体的に簡潔に表現することができた。
作品を鑑賞する力	A	4	完成した作品を実際に鑑賞し、言葉で表現することができた。